

令和 8 年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和 7 年度事業対象)

令和 8 年 7 月
浦添市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)の一部改正により、平成20年度から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価の報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

これを受け、本市教育委員会においても平成20年度から点検・評価を行い、その報告書を作成し、市議会に提出するとともに、本市ホームページ上において公表しております。

令和8年度においても点検評価を実施いたします。

本報告書は、令和7年度において実施した事業の中から、重点施策と位置づける事業について、点検・評価を実施し、報告書としてまとめたものです。

ぜひ、ご一読いただき、本市教育委員会の取組にご理解を賜るとともに、ご意見、ご指導を頂くことができれば幸いに存じます。

令和8年7月

浦添市教育委員会

教育長	銘 苅 健
職務代理者	宮 城 靖
委 員	下 地 イツ子
委 員	大 兼 奈月
委 員	初 鹿 野 修

目 次

I	点検・評価制度の概要	1
1	経緯	
2	目的	
3	学識経験者の知見の活用	
4	点検・評価の方法	
II	本市教育委員会の点検・評価の方法	2
1	対象となる事業の考え方	
2	点検・評価の様式	
3	点検・評価書の見方	
4	学識経験者の知見の活用	
III	教育委員会点検・評価書	
1	教育委員の活動評価	4
	(1) 概要	
	(2) 名簿	
	(3) 教育委員の活動状況	
	(4) 教育委員の活動自己評価	
2	教育長への委任事務評価	
	点検評価対象事業一覧	6
	(1) 社会教育(No.1 ～ No.4)	
	(2) 文化芸術(No.5 ～ No.7)	
	(3) 学校教育(No.8 ～ No.12)	
資 料		
1	教育委員会会議における議案等一覧	(1)
2	教育委員の活動状況	(4)
3	教育長の活動状況	(6)

点検・評価を終えて

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)が改正され、平成 20 年 4 月から施行されました。

地教行法改正の趣旨の大きな柱のひとつが「教育委員会の責任体制の明確化」であり、その趣旨に沿って今回の点検評価制度が導入されたものです。

これに伴い、教育委員会はその権限に属する事務について、点検・評価を行うことが義務づけられ、さらにその結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関であり、学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の幅広い教育に関する事務を所掌しておりますが、この所掌する事務が適正かつ効果的に執行されているかについては、自らが事後チェックすることが重要であると考えられました。

今回の地教行法の改正に伴う点検・評価制度の導入により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を議会に提出し、公表することとします。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験者の知見の活用は、点検・評価の客観性を確保するためのものです。評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けます。

4 点検・評価の方法

点検・評価の具体的な方法について、国が基準を定めることはありません。点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法については、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(平成 20 年 4 月 1 日施行)

Ⅱ 本市教育委員会の点検・評価の方法

1 対象となる事業の考え方

教育委員会の点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「教育委員会自ら管理・執行する事務」と「教育委員会から教育長に委任されている事務」となっております。

教育長への委理事務の点検については、義務的、経常的なものを除き、重点施策と位置づける事業について行うこととし、令和 7 年度に実施した 12 の事業を精選し、点検・評価を行いました。

2 点検・評価の様式

本市が平成 29 年度より新教育委員会制度へ移行したことに伴い、「教育委員の活動」は、それまでの評価方式を改め、新制度の趣旨に沿って3つの項目で自己評価を行っております。

「教育長への委理事務」については、事業の自己評価に対する有識者の意見を付しております。

3 点検・評価書の見方

(1) 「教育委員の活動」

一年間の教育委員の活動を3段階評価で自己点検しました。

(2) 「教育長への委理事務」

- ① 「事業名」は、原則として予算上の事業名を引用してあります。
- ② 「事業概要」は、各事業の概要を簡潔に記載してあります。
- ③ 「内部評価」は、下記の指標に基づき自己評価を行いました。
- ④ 「外部評価」は、各分野の有識者の意見を付しております。

※自己評価配点基準

- | |
|--|
| 1 必要性…教育委員会が実施すべき範囲として |
| ・適切→3点 ・概ね適切→2点 ・やや不適切→1点 ・不適切→0点 |
| 2 有効性…予定された実績、成果を得るのに |
| ・有効→3点 ・概ね有効 →2点 |
| ・あまり有効でない→1点 ・有効でない→0点 |
| 3 効率性…投入した経費等が原資に見合う |
| ・実績を出している →3点 ・実績を概ね出している→2点 |
| ・実績をあまり出せない→1点 ・実績を出せない →0点 |
| 4 優先度…本事業が他に比べて |
| ・優先度がある →3点 ・概ね優先度がある→2点 |
| ・あまり優先度がない→1点 ・優先度がない →0点 |
| 5 総合評価 A→総合点 10 点以上 B→8～9点 C→6～7 点 D→5 点以下 |

4 学識経験者の知見の活用

この点検評価を開始した平成 20 年度の最初の有識者会議において有識者の方から各々の専門分野を生かすため、各有識者がそれぞれ関係の深い専門分野について意見を述べるのがよいのではという提案があり、以後、同様の手法を採用しております。教育委員会が自己点検・評価したものに対して、意見を述べていただきました。

「点検・評価に関する有識者」名簿		(五十音順・敬称略)
氏 名	専 門 分 野	事業担当部署
平 良 亮	学 校 教 育	指 導 部
松 川 章	文 化 芸 術	教 育 部
森 田 牧 子	社 会 教 育	教 育 部

浦添市教育行政の「点検・評価に関する有識者」に関する要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条の規定に基づき、教育に関する事務の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置く。

(委嘱等)

第2条 有識者は、教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 有識者の任期は、当該年度における点検・評価に係る業務の終了時までとする。

(業務)

第3条 有識者は、次に掲げる業務を行う。

(1)教育委員会が実施した点検・評価に関し意見を述べること。

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 21 年 1 月 29 日から施行する。

この訓令は、平成 27 年 5 月 19 日から施行する。

Ⅲ 教育委員会点検・評価書

1 教育委員の活動評価

(1) 概要

浦添市教育委員会は教育長と4人の教育委員で組織されています。教育委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ臨時会へ出席し、付議された案件について審議等を行っています。また、学校や地域行事等への積極的参加や教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集や教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 名簿

令和8年3月31日現在

役職名	氏 名	任 期
教育長	銘 苺 健	令和5年6月7日 ~ 令和8年6月6日
職 務 代理人	下 地 イツ子	令和4年10月1日 ~ 令和8年9月30日
委 員	宮 城 靖	令和5年4月1日 ~ 令和9年3月31日
委 員	大 兼 奈月	令和6年10月1日 ~ 令和10年9月30日
委 員	東 健 策	令和7年4月20日 ~ 令和11年4月19日

(3) 教育委員の活動状況

	内 容	延べ件数
1	教育委員会の会議(定例会・臨時会)	16
2	総合教育会議	2
3	教育委員の資質向上(研修会・勉強会等)	14
4	学校訪問	16
5	各学校行事(儀式・体育行事等)	14
6	各種行事(式典・大会等)	20
7	研究大会・会議・市主催事業等への参加	16

(4) 教育委員の活動自己評価

平成 29 年度から新教育委員会制度に移行したことを契機に、教育委員会活動評価について新たに教育長へのチェック機能も評価項目として加えた。各活動評価についても項目毎に ABC の評価基準を設け自己評価方式に変更した。

評価に当たっては、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を重視しつつ、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化等を踏まえて評価を行った。

<評価基準> A:よくできた B:できた C:不十分		
項 目	内 容	評価
教育委員会会議について	1 方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか。 ○常に公正公平性を心がけ、急な対応においても会議を開催することができた。	A
	2 議案の決定は十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか。 ○議案決定に際しては、事前の勉強会の実施により、議案に対しての理解を深め、十分な協議を行うことができた。	A
	3 議案の審議にあたって合議制は十分に機能したか。 ○議案に対し、各委員がそれぞれの視点から意見を出し合い、審議を行うことができた。 また、令和7年度から議事録をホームページで公開しており、合意形成のプロセスの可視化を図ることができた。	A
	4 会議の透明性のため、原則として、会議の議事録を作成・公表することができたか。 ○会議の議事録は事務局の迅速な作成で、審議内容を各委員で共有化できた。 ○令和7年度から教育委員会会議の議事録を市ホームページで公開している。	A
地域住民の意向の反映について	1 学校訪問を通して、学校教育の現状を把握し、適切な支援が行えたか。 ○市立の全小中学校を訪問し、主にICTを活用した工夫ある授業の取組が把握できた。 また、校長及び管理職等との意見・情報交換を行うことで各学校の実情を把握し、課題等については、持ち帰り、担当する所管課に情報共有を行い、適切な支援に努めることができた。	A
	2 社会教育行事・各種行事等へ参加し、現状把握することはできたか。 ○市内小中学校の入学式や卒業式並びにてだこ学園大学院の入学式や卒業式、また、浦添獅子舞フェスティバル、浦添市子ども会まつり及び浦添市はたちの集いなど多種多様な行事に参加することができた。これにより、各行事の様子、状況等を確認し、現状把握することができた。	A
	3 外部評価の点検・評価は適切に行われ、スムーズに議会や市民へ報告・公表できたか。 ○9月議会への報告及び本市ホームページで公表した。	A
教育長について	1 教育長は重要な審議事項や重点課題などの進捗・執行状況などを効果的に報告したか。 ○定例の教育委員会においての報告以外にも教育長への委任事務の事務進捗状況等についての報告がなされた。	A
	2 日頃の教育課題への問題意識を、会議の議事設定に活かすことができたか。 ○教育委員が日頃関心を持っている教育課題を議題として取り上げることができた。	A

2 令和8年度 教育長への委任事務評価(令和7年度実施事業)

点検評価対象事業一覧

No.	分野	事業名	担当課	自己評価					有識者
				必要性	有効性	効率性	優先度	総合評価	
1	社会教育	地域学校協働活動推進事業	社会教育推進課	3	3	2	3	A	森田 牧子 氏
2		放課後子ども教室推進事業	社会教育推進課	3	3	2	3	A	
3		中央公民館運営事業	社会教育推進課 (中央公民館)	3	2	2	3	A	
4		図書館運営事業	社会教育推進課 (図書館)	3	2	3	3	A	
5	文化芸術	浦添市内遺跡発掘調査事業	文化財課	3	3	3	3	A	松川 章 氏
6		史跡浦添城跡保存整備事業	文化財課	3	3	3	3	A	
7		悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	文化財課 (美術館)	3	3	3	3	A	
8	学校教育	学力向上対策事業	学校教育課	3	3	3	3	A	平良 亮 氏
9		外国語指導事業	学校教育課	3	3	3	3	A	
10		こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	学校教育課 (教育研究所)	3	3	3	3	A	
11		課題を抱える児童生徒支援事業	こども青少年課	3	3	3	3	A	
12		学校給食費補助金交付事業	学校給食調理場	3	3	3	3	A	

※自己評価配点基準

【各項目】3点(適切等)～ 0点(不適切等)×4項目

【総合評価】A(10点以上)・B(8～9点)・C(6～7点)・D(5点以下)

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	1	事業名	地域学校協働活動推進事業							
担当課	社会教育推進課				有識者	森田 牧子				
事業概要	地域と学校の連携協働により、市民の学びを教育活動に生かし、地域の教育力の向上と地域社会の活性化を目指すため、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)との一体的な取組のもと、地域学校協働活動推進員の配置や地域ボランティアの確保・活用による学校教育活動の支援を進め、学校を核とした地域づくりを行う									
評価	必要性		有効性		効率性		優先度			
	3		3		2		3			
	A									
成果等	1 推進員及びボランティア活動実績									
	年度	地域学校協働活動推進員						活動ボランティア (人)		
		地域コーディネーター			統括コーディネーター					
		配置	年間日数平均	年間時間平均	配置	年間日数	年間時間	延べ人数	(実人数)	KPI 目標値
	R7	16 人	64.3 日	87.1 時間	1 人	144 日	664 時間	19,672	(897)	15,900 ※実人数設定なし
	R6	16 人	59.3 日	81.8 時間	1 人	137 日	652 時間	18,607	(990)	15,800 ※実人数設定なし
	地域コーディネーター(全小中配置) 地域連携担当教諭との調整及びボランティアの確保等 統括コーディネーター(担当課配置) 推進員相互間及び教育委員会、学校等との連携調整等									
	2 主な取組み事例									
	(1) 学校に対する多様な協力活動 地域ボランティアによる、朝の読み聞かせ・校内清掃・花壇整備・交通立哨(各小学校) 企業ボランティアによる、トイレ掃除・朝のミニ講話(浦西中)									
	(2) 教育課程における(総合的な学習等)授業での活用 運動会に向けて地域の獅子舞・棒術保存会から指導を受ける(内間小 3 年) 公民館講座「平和キャラバン」を活用して平和学習を行う(小学校5校・中学校1校) 地域住民から黒糖づくりの一連を体験する(小学校6校) 卒業式前に地元出身の JTA キャビンアテンダントから礼儀作法を学ぶ(港川小 6 年) 陽明高校「キャリアスク！」へ出向き高校生の学びを体験交流する(宮城小 6 年) 「職業人講話」において各界で働くプロを講師に招き職業観や意義を学ぶ(浦添中1年)									
課題	OR8 年度からコミュニティ・スクールの充実期に入るなか、地域ボランティアの高齢化・固定化が進んでいる。延べ人数では目標値を達成しているが、新たな担い手の参画が十分でなく、継続的な人材確保と世代交代が課題である。									
今後の方向	○高校生・専門学生・大学生(教職課程履修学生)など若年層の参画を促進し、学習支援や文化活動、行事支援等への参加機会を拡充する。あわせて、学校と地域をつなぐ仕組みづくりを進め、継続的に関われる体制を整備する。 ○若年層や企業等、多様な主体が継続的に参画する体制を構築し、互いにとってウィンウィンな活動を実現する。 ○R8 以降の市総合計画及び教育振興基本計画後期策定見直しにおいて、新たにボランティア延べ人数を+100 人/年から+500 人/年に変更し、新たに(実人数+50 人/年)を追加している。									

- 今回「点検・評価書」では、数値を用い、事業実績・目標の見える化を図ろうとしていることに変化を感じる。
- この事業は「社会総がかりでの学校教育の実現」を目指したものであり、各項目の数値の動きからは事業の一定の効果が見て取れる。
- 事業を支える「活動ボランティアの参加人数」の項目が、後期総合計画等の目標値(KPI 指数)とされているようである。
- 前述の「活動ボランティアの参加人数」を例にとり、この事業に求める効果について、次の三つの視点で見てみることは可能であろうか。
 - ・「活動ボランティアの参加人数」が増えることで、子どもたちの学びが豊かになったかどうかの一つ目の視点。
 例えば、よりよい授業ができた、子どもの地域愛着形成に一役買っている、地域との連携協働の機会が増し、顔の見える関係づくりができた等。
 - ・二つ目は、ボランティア側の満足度・達成感が増したかという視点。
 一人で抱えていた活動を違う方とシェアすることができ負担が減った、活動が生きがいにつながっている、自己有用感が向上した等。
 - ・三つ目は地域力の向上・地域活性化につながっているかの視点。
 自治会加入者が微増した、若年層の参加が増え地域に活気が出てきた等。
- 前述の二つ目・三つ目に係ることとして、「地域コーディネーターを含むボランティア個人」、そして諸々を「まるごと包含している地域」として、役立っている事業なのかどうかについて知りたいし、ほんの少しのエピソードでもいいので知らせてもらえればと思った。
- 効果測定に使える「以前は 10 段階の3だったが、この事業に関わり 10 段階の7になった」等の事例があれば、積極的に活用するなどして、個人や地域にも変化が起こっていることをアピールしてはどうか。
- 「学校を核とするのが基本」であるのは間違いない。ただ、国としても社会教育事業との位置付けであるので、学校教育に役立つだけでなく、「社会教育目線」も忘れないで欲しいと考えている。

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	2	事業名	放課後子ども教室推進事業						
担当課		社会教育推進課				有識者	森田 牧子		
事業概要		放課後や週末に、市内小・中学生を対象として学校や自治公民館等で学習・スポーツ・文化活動等の様々な体験活動・交流活動を実施。地域住民の協力を得ながら、子どもたちの安全・安心な居場所の確保と健やかな成長を見守る。							
評価	必要性	有効性		効率性		優先度			
	3	3		2		3			
	A								
成果等	1 開設教室及び参加児童実績								
	年度	開設教室(プログラム)		活動場所		参加児童生徒数(延べ)			
		実績値	KPI 目標値	学校	自治会(その他)				
	R7	22 教室(46)	28 教室	9 校	7(5)箇所	15,098 人			
	R6	21 教室(42)	27 教室	8 校	7(5)箇所	12,173 人			
	R7 年度新規開設 三線・太鼓(港川小校区)、琉球箏曲(仲西小校区)、琉球舞踊(神森小・前田小校区) R7 年度閉設 季節行事・料理(仲西小校区)、工作(牧港小校区)								
	2 教室運営ボランティア実績								
	年度	実人数	ボランティア延べ人数						
			協働活動リーダー・サポーター(有償)			無償ボランティア			
	R7	103 人	3,234 人			1,304 人			
	R6	115 人	3,026 人			1,550 人			
	協働活動リーダー プログラム進行の中心となる専門性を有する技術的指導者 協働活動サポーター 子どもたちの安全等、現場を管理する者								
	3 謝礼金単価								
	年度	1 時間あたり謝礼金単価				県との差額			
		浦添市		沖縄県		リーダー		サポーター	
リーダー		サポーター	リーダー	サポーター	金額	%	金額	%	
R7	540 円	540 円	1,480 円	1,023 円	940 円	36.49%	438 円	52.79%	
R6	540 円	540 円	540 円	540 円	0 円	100%	0 円	100%	
※前年度有識者からの課題を受けて R7 年度に教室の現場視察を実施し、プログラム活動中心の運営実態や、リーダーに企画・技術指導・安全管理の負担が集中している状況を確認した。これらを踏まえ、担い手の確保及び活動の質の維持・向上を目的として、R8 年度に向けた謝礼金単価の見直し(役割に応じた差額設定)に着手し、制度の適正化を図った。									
課題	○放課後子ども教室は全小校区で開設しているが、運営体制や担い手の確保状況の違いにより、実施内容や活動の充実度に地域差がみられる。現行の謝礼水準では安定的な運営ボランティアの確保が難しい状況である。								

今後の方向	○県の基準額及び他市の動向を鑑み、R8 年度より協働活動リーダーとサポーターの謝礼金単価引き上げ及び役割に応じた差額設定(リーダー540 円→1,200 円・サポーター540 円→950 円)を行う。あわせて、各校区の実情を踏まえた運営体制の見直しを行い、活動内容の充実を図る。 ○全小学校区において、安定した運営体制のもと、地域差の少ない充実した放課後子ども教室を実施する。 ○R8 年度以降の市総合計画及び教育振興基本計画後期策定見直しにおいて、R7 実績値(22 教室)をもとに教室数+1/年教室としている。
有識者の意見	○数値を多用した分析が取り入れられていることは、他者が見ても分かりやすく、大変効果的に見えた。 ○前年度、当方が課題とした点である「謝礼金の単価見直し」について、教室の視察による現状把握を行い、現場の声も拾った上で適正化に踏み切ったということだ。外部からの提案を厄介なことと敬遠せず、打てば響くような柔軟な取組によりボランティアに笑顔が生まれ、モチベーションも上がることにつながっただろう。改善が改善を生む、とても価値ある変化だと思った。 ○沖縄県教育委員会ホームページに掲載の「学校・家庭・地域の連携協力推進事業(市町村の取組事例 令和7年度)」によると、浦添市放課後子ども教室の「成果・効果・課題」の欄に、課題として「☆教室の定員を上回る申込みがあるため、教室の追加や変化等の対応が必要」ということが記されている。 ○定員を上回るニーズがあるとは嬉しい悩みではあるが、地域により担い手不足も生じている中、どのように解決していくか見守って行きたい。 同じ課題を北谷町も抱えているようなので、必要に応じ情報共有し、一人の子どもも取りこぼさないよう動き始めていただきたい。

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	3	事業名	中央公民館運営事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	森田 牧子	
事業概要	多様な価値観に対応した社会教育推進の取組として、地域・現代的ニーズ(必要課題)と市民のニーズ(要求課題)を捉えた「公民館講座」、自治公民館が主体となった「自治公民館講座」の開設等、学習支援を通じて「まなぶ・つどう・つなぐ・いかす」社会教育の場を提供する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
	A				
成果等	(1)中央公民館講座 ・ 29 講座全 76 回実施 (R6年度 28 講座全 66 回) ・ 学習者延べ 6,630 名 ・参加者の割合(対定員)36～135%(全講座平均 80%) ※地域住民の学習活動の活性化及び地域力を図る目的で、前年度に引き続き出前講座「自治公民館おでかけ講座」を実施。地域での仲間探しや居場所としての自治公民館を知ることと併せて、就学前の子と親が運動遊びを通して身体能力の向上を図るための家庭教育支援講座を安波茶公民館で実施した際は、男性の保護者の参加が多くみられた。 ※「障害者の生涯学習の推進」に取り組み、市内の特別支援学校又は特別支援学級の児童生徒を対象に郷土芸能の講座を実施し、公民館フェスタで成果発表を行った。講師を務めた沖縄国際大学琉球芸能文学研究会の学生がひとりひとりに対応したきめ細かな踊りの指導を行い、児童生徒が他者のアドバイスを取り入れながら自身の課題をやりとげるとともに、伝統芸能の実践を通して地域の一員であることを実感する機会を提供した。 ※定員に対する参加者の割合は、講座の時期、曜日、場所、内容、受講対象者の年代によって様々であったが、講座名称から学習の目的と内容がひと目で伝わりやすい講座の参加率が高い傾向にあり、気軽に参加しやすい軽妙なタイトル付けを工夫していきたい。				
	(2)自治公民館講座 ・ 18 自治公民館 32 講座全 99 回開設 (R6年度 21 自治公民館 33 講座全 115 回) ・ 学習者延べ 1,092 名 ※市内 41 か所の自治公民館に対して5人の社会教育指導員が担当制で制度活用を促し、学習相談・支援を重ねることで3年以上開設がなかった2館での開設があった。 (3)自主企画まなび助成制度 ・ 8グループ全 20 回活用 (R6年度 14 グループ全 32 回) 学習者延べ 188 名 (4)定期利用団体(公民館サークル)及び各種関係団体の活動支援 ・ 公民館登録活動団体 69 団体 (R6年度 69 団体) (5)公民館サークルの成果発表 公民館フェスタ 2025 令和7年 11 月1日(土)アイム・ユニバースてだこホール ダンス交流会 令和7年 12 月6日(土)館内ホール 作品展示 令和8年1月 13 日(火)～2月 13 日(金)館内及び市役所ロビー				

課題	○新しい社会教育活動の展開 ・社会教育のネットワークセンターとして、情報の発信や地域力向上につながる取組の創出につとめる。 ・市民が親しみやすく、足を運びやすい拠点づくりをめざし、効果的な施設の活用を図る。
今後の方向	○地域住民の学習活動の活性化に向けて地域との連携を密にし、自治公民館や類似施設の活用により、市全域を学びの場とした社会教育活動の拡がりを広域で展開する。 ○参加者の固定化が生じないよう、各講座において想定しているターゲット層に対する積極的な情報発信を行うことで多くの市民に学習機会を提供したい。
有識者の意見	○昨年度検討をお願いした「人数(定員)」に対する「人数(参加人数)」の割合が、今回は示され、かつ丁寧な分析が施されている。講座管理について PDCA の視点を持って取り組んでいることが分かった。参加者の割合は全講座平均で 80%とのことで、数値から見ると好成績である。「今を生きる人たちの課題が解決できるような」「選んでもらえる」講座づくりを今後も期待する。 ○中央公民館が閉館する時、そして閉館してからの市民の戸惑う様子は記憶に新しい。個人的な感想として、反響は予想を大きく上回った。市制施行から9年目に当たる 1979(昭和 54)年4月に開館ということで、浦添市の発展を 50 年近く丘の上から見守って来たのが中央公民館であり、多くの方々の暮らしにとり、かけがえの無いものになっていたからこそその反響だったのだろう。市民の一人としてその歴史を讃えたい。 ○礼を失した物言いになるが、中央公民館の外観は見たままを言うと「古い建物」だった。ところが、建物の中には、計画された講座そして各種サークル等による「豊かな活動」が存在していた。また、働きは建物の中に留まらず、例えば自治公民館講座事業では市内各所とネットワークを持ち、地域の「自主的なまなび」を支え、地域を耕して来たとのことである。 ○この春、カルチャーパークに接した「あかひらステーションビル」に拠点を移した中央公民館であるが、今しばらくこの状態が続くということであり、その間機能としての中央公民館の継続、文化としての中央公民館の継承が為されるという。 ○公民館は「日本独自」のものだと聞く。新しい場所において、ハコの制約を逆に味方に付け、「浦添独自」の公民館活動・文化が花開くことを楽しみにしている。

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	4	事業名	図書館運営事業		
担当課	社会教育推進課(図書館)		有識者	森田 牧子	
事業概要	浦添市立図書館は図書及びその他の資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図り、市民の教養、調査研究、レクリエーション等活動を援助し、生涯学習及び課題解決を支援し、市の教育・文化振興の拠点となる図書館を目指す。併せて、多様化・高度化する市民のニーズや社会の変化に伴う新たな要請へ対応する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	3	3	
	A				
成果等	(1)図書資料等の貸出業務				
		R7年度	R6年度	R5年度	
	貸出冊数	280,771冊	297,414冊	303,150冊	
	1日平均貸出冊数	1,068冊	1,070冊	1,079冊	
	貸出人数	67,188人	69,544人	69,211人	
	1日平均貸出人数	256人	250人	246人	
	予約総数	15,821件	18,025件	17,503件	
	Web予約数	12,297件	14,459件	14,028件	
	新規利用申請者数	792人	924人	981人	
	開館日数	263日	278日	281日	
	(2)雑誌スポンサー制度				
		R7年度	R6年度	R5年度	
	企業数	17事業所	20事業所	22事業所	
	タイトル数	22タイトル	27タイトル	30タイトル	
	金額	280,390円	314,440円	341,068円	
	(3)電子図書館事業				
		R7年度	R6年度	R5年度	
	貸出冊数	11,376冊	7,616冊	16,268冊	
	1日平均貸出冊数	31冊	21冊	45冊	
	貸出人数	2,438人	1,859人	2,898人	
	1日平均貸出人数	7人	4人	8人	
	総閲覧数(PV)	24,936PV	17,842PV	29,606PV	
	うち地域資料(PV)	698PV	487PV	315PV	
	※電子図書館は令和4年2月より開始				
	※R5年10月に市内小中学校全児童・生徒及び全教職員に電子図書館専用アカウントを付与したため、全体的に増となる。				
	※総閲覧数(PV)は、電子書籍を閲覧した回数(1冊の本を2回に分けて読むと2PVとなる)				
	(4)2025うらそえYA文芸賞				
	R7年度	R6年度	R5年度		
短編小説部門	33人	20人	26人		
詩部門	0人	0人	5人		

	(5)暮らしに役立つ図書館 令和5年度・・・「大人のための速読講座」 令和6年度・・・「詩の教室～詩って何？詩を書いてみませんか？～」 令和7年度・・・「YA世代向け詩の講座」・「詩を書いてみませんか？実践編」 <table><tr><td></td><td>R7年度</td><td>R6年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td>参加者</td><td>22人</td><td>15人</td><td>18人</td></tr></table>		R7年度	R6年度	R5年度	参加者	22人	15人	18人
	R7年度	R6年度	R5年度						
参加者	22人	15人	18人						
	(6)ビブリオバトルの体験の実施 ・YA世代(中学生・高校生)への読書活動の取組として、「ビブリオバトル」(知的書評合戦)を開催。 読書を通じた表現力やコミュニケーション力の育成を図る。 市内中学校1校(浦西中学校) 予選：参加数:生徒 15人 教員 2人 本選：参加数:生徒 15人 教員 3人 学校司書 15人 オブザーバー 2人 講師 1人 その他 1人								
課題	○昨年度と比べ貸出冊数・貸出人数等に関しては、微減。要因としては、蔵書点検に加え、5年に1回のシステム入替のため2月25日より3月31日までの1カ月余の休館によるもので、次年度は通常通りの利用状況に戻るものとする。 ○新規利用申請者数の減少については、上記休館期間の影響によるものととらえている。令和7年度は利用者の利便性を図るため図書館利用カードのWeb申請を開始した。今後も新規利用者を増やすため、一層の利便性の向上について検討していきたい。 ○電子図書館においては、沖縄国際大学より電子図書館のPR動画が提供され、市民課前のデジタルサイネージや、図書館内のデジタルサイネージで公開したところ、令和6年度よりも貸出人数、貸出し冊数ともに伸びている。次年度以降もより一層のPRと電子書籍の充実が必要と考える。 ○YA文芸賞については、夏休みの課題で取り組む学校がある場合には応募者数が多かったが、近年は減少傾向である。特に「詩」部門では令和6年度に応募が無かったため、YA世代向け「詩」の講座を設けるなどしたが、効果が表れず令和7年度も応募が無い状況となった。次年度は、学校司書等とも連携しPRを強化していく。								
今後の方向	○図書資料等の貸出業務については、蔵書点検・システム入替等で休館が続き減少傾向であった。今後は通年通りの数値に戻ると思われるが、利用者が関心・興味を持つような様々な企画を催し、変化に富んだ資料の展示・提供等を実施する。利用者の需要につながるよう情報を収集し資料のバランスを考えながら蔵書の充実を図り、貸出冊数、利用者の増加につなげたい。また、図書館前掲示板及び館内掲示板の活用やSNSによる周知も効果的に行うよう努める。 ○雑誌スポンサー制度においては、厳しい社会状況の中で協力いただいている。事業のPR及び新規スポンサーの開拓につながるための手法検討が必要であり、引き続き事業の促進に努める。 ○電子図書館においては、限られた予算の中で利用者の興味・関心や知識向上に向けたタイトルの選定に努める。 ○YA文芸賞においては、年度当初より学校司書と連携・協力し、学校やその他YA世代の利用する施設へもPRを行い、応募者増に努める。 ○ビブリオバトル体験では、YA世代の読書活動推進のため、今後も教育機関(学校等)と連携を図り取り組んでいく。 ○昨年度は、市立図書館・JICA 沖縄ともに40周年を迎え、規模を大きくした「せかいのおはなし会」や「1日図書館員」を実施した。また、「アメリカ情報コーナー」においても英語のおはなし会・ボードゲーム・上映会等様々な行事を実施した。今後も多種多様な事業展開を関係機関と協力・連携し取り組んでいく。								

- 某検索エンジンで、県内市立図書館の単独館タイプに限り各館名を検索してみると、浦添市立図書館のクチコミ評価は高めで安定している。書き込み件数はそう多くないが、評価されている複数の点は参考になる。
- 図書館事業に限らないが、市民向けサービスを続けていくからにはそれ相当の覚悟と費用が必要である。
- 紙の本も、電子書籍も、居心地の良い空間の維持管理も、20 年を越した二代(台)目としよまるも、高齢者もYA世代も子どもも、地域資料も多文化コーナー資料も、どれもが重要。
- 市民のニーズの多様化・高度化に合わせ対応し続けること、しかもどの分野もまんべんなく整えるということは、傍らで見るほど簡単ではない。限られた財源を「計画的に」「どこに」集中していくのかについて、図書館の守り人たちの悩みは多かろうと察する。
- 図書館員が大切にしている古い言葉の一つに「Library is a growing organism(図書館は成長する有機体である)」がある。図書館は変化と発展を止めないという意味である。
- ただあり続けるのか、チャレンジャーであるのか。開館から今日までの歩みを辿ると、浦添市立図書館は常に後者であるような気がする。確かに建物は、トレンドである多機能(複合)型ではないが、実施していることの幾つかはとてもユニークであり、これまでに蓄積を糧に、これから分析・工夫を重ねながら変化と発展を止めないに違いないと思わせてくれる。
- ただし、現実には起きているであろう困難については、図書館メンバーだけで悩むものでもない。中・長期的に何を優先し取り組むか、何を残していくか等、手間はかかるが、もっと大きなところ(例えば市民レベル等)での議論も必要なのかもしれない。
- 翻って単年度的にはこの点検・評価書にある4つの評価のうち、唯一「2」である「有効性」については「3」を目指していただきたい。実施している各事業が当初の目的を達成できたこととらえられるよう、効果的な図書館事業の周知・情報提供の推進についてリサーチを続け、一つひとつをトライ&エラーで乗り越えて欲しいと願う。

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	5	事業名	浦添市内遺跡発掘調査事業		
担当課		文化財課	有識者	松川 章	
事業概要	市内における大規模開発に際して、埋蔵文化財の有無の試掘調査及び範囲確認調査を実施して埋蔵文化財の適切な保護と調整の円滑化を図る。また、重要な遺跡について範囲及び性格を確認し保護を図るものである。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	(1)民間開発に伴う記録保存調査 →仲間二丁目地内の住宅建築に伴う試掘調査にて確認された周知の埋蔵文化財「仲間遺跡」に対し、現地保存ができない箇所について記録保存調査を実施した。 →表層の客土を除去したところ、200基近くの遺構と青磁などの陶磁器類を中心とした遺物を確認した。 →特に遺構について、複数の遺構が重なって検出した様子を確認して、当該地が長期間利用され続けた場所であることが分かった。 →発掘調査の成果を市民に伝えるために市役所一階ロビーにてパネル展示を実施し、パンフレットも配布した。				
課題	○「仲間遺跡」については、今後も範囲確認等のために継続した調査が必要であるが、調査にあたっては地権者及び土地の開発者にご理解いただく必要がある。				
今後の方向	○令和 8 年度の浦添市内遺跡発掘調査事業は仲間遺跡の緊急発掘調査を実施予定。 ○令和 9 年度は浦添市内遺跡発掘調査事業にて浦添城跡の全容を解明するための範囲確認調査を実施予定				
有識者の意見	土地開発に当たり、当該地の埋蔵文化財の有無の確認とその取扱いにかかる事業で、今回は現地保存できない箇所の記録保存の発掘調査が実施され、本事業の趣旨が達せられた。 仲間遺跡は、仲間自治会事務所周辺の南向け緩斜面一帯で確認されており、今後も建築物の新築や建て替えにより発掘調査が行われると考えられ、地権者の理解を求めながら埋蔵文化財の適切な保護を図っていただきたい。 また、発掘調査で得られた情報を公開すべく、庁舎1階ホールで発掘調査パネル展を実施したことは、埋蔵文化財の周知と保護に資するもので評価する。				

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	6	事業名	史跡浦添城跡保存整備事業			
担当課		文化財課		有識者	松川 章	
事業概要	本事業は国指定史跡浦添城跡の適切な保存と活用を図るため、「史跡浦添城跡整備基本計画」に基づき復元整備を行うものである。浦添グスクと浦添ようどれを核とした歴史公園整備を最終的な目標とし、現在は計画の第Ⅱ期地区の整備に着手している。令和7年度事業内容は、発掘調査及び発掘調査報告書の刊行である。					
評価	必要性	有効性	効率性	優先度		
	3	3	3	3		
	A					
成果等	浦添城跡の「外郭南地区」において発掘調査を実施し、石積城壁の外側(そとづら)の石積や裏込石が残存している状況を確認した。また、外側の積石が崩落していた地点では、石を積むために岩盤を加工した痕跡が確認され、これらをつなぎ合わせることで、この地点の城壁が波打つような形状をしていたことが明らかとなった。発掘調査は浦添城跡の復元を行うために必要な根拠資料を得ることを目的に行ったものであり、城壁復元の設計に必要な知見を得ることができた。 令和7年度は同地区の発掘調査を行うとともに、発掘調査報告書を刊行した。 また、発掘調査中には調査の様子を現地に掲示する取組を行うとともに、発掘現場見学会を実施し、参加者約100人に現地を公開した。そのほか、令和8年2月から3月に浦添市役所1階ロビーにおいて発掘写真パネル展を開催し、市民へ調査の様子を公開・周知した。					
課題	○第Ⅱ期整備事業で復元の対象となる外郭城壁の残存状況が不明な箇所があり、復元に必要な資料を得るため発掘調査を行う必要があること。					
今後の方向	○これまで本事業で実施してきた第Ⅱ期地区の発掘調査や岩盤調査の成果を踏まえ、復元の具体的な方針・設計を検討する。 ○復元設計の根拠資料を得るため、発掘調査を継続して実施する。 ○発掘調査成果を周知・活用し、地域史や文化財保護等の普及啓発を促進する。					
有識者の意見	令和7年度は、外郭南地区の遺構確認発掘調査の実施と発掘調査報告書が刊行された。外郭南地区の城壁復元に当たり遺構確認発掘調査が実施され、石積み城壁の外側とその内側裏込め石、そして石積み箇所岩盤に加工痕が確認された。また、当該箇所の城壁の平面形は波状をなすことが明らかとなった。 浦添城跡の南側城壁は、これまでの発掘調査で多くの成果が得られており、今後とも、遺構確認発掘調査を継続し、第Ⅱ期地区の復元実施設計、復元整備工事の実施を期待する。 発掘調査箇所の現場見学会の実施、庁舎1階ホールにおける発掘パネル展の実施は、その成果を市民と共有し、文化財保護の意識の高揚が図られたものと考ええる。					

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	7	事業名	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業		
担当課		文化財課(美術館)		有識者	松川 章
事業概要	H24 年度～R3 年度実施の沖縄振興特別交付金による同事業を R6 年度～11 年度再計画、実施。市民への文化継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化を紹介する市美術館において、常設展の充実化や関連講座の実施、開館 35 周年記念展などの企画展を実施した。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	① 常設展 年間 3 回の常設テーマ展示を実施。(累計 6510 人観覧) ・第1期常設展「戦後 80 年沖縄戦前・戦後の漆器 新収蔵品展」(5/18～9/7) ・第2期常設展「アジア世界報－アジアと沖縄の漆文化－」(9/14～1/15) ・第3期常設展「知って楽しむ琉球漆器の世界－貝摺奉行所のおしごと－」(3/15～5/17) ② 企画展 (累計 8476 人観覧) ・葛飾北斎 琉球八景展(4/24～5/11) ・儀間比呂志・中山良彦「戦がやってきた－沖縄戦版画集－」版画展(4/24～5/11) ・開館 35 周年特別展「超リアル！琉球王国の華・漆芸 貝摺奉行所展」(1/23～3/8) ③ 関連事業 ・第 1 期常設展関連講座「近代沖縄の漆器」 日時:8月2日(土)午後2～4時 講師:岡本亜紀(美術館係長) ・第2期常設展特別講演会「沖縄に根付いた外来文化の受容と変容」 日時:1 月 11 日(日)午後2～4時 講師:高江洲敦子(冲国大非常勤講師) ・開館 35 周年特別展「超リアル！琉球王国の華・漆芸 貝摺奉行所展」関連講座 日時:1月 24 日(土)午後2～4時 講師:安里進・金城聡子ほか 計7回実施。 その他、各種団体協力のもと組踊実演等のイベント実施。				
課題	○これまでの収蔵品充実化活動や常設における各期テーマ展示等の集大成ともいえる貝摺奉行所展を開催したことで、館の専門性に対して高い評価を得た一方、来館者数は伸び悩んだ。				
今後の方向	○令和8年度は、現代漆芸家を紹介するシリーズ展「照屋和那展」を9月に開催、令和6年度寄贈品を紹介する「宮城篤正コレクション展」を1月に開催する。今後も調査研究に基づいた展示活動を展開する。幅広い客層に向けた広報を意識し、SNS、インターネット、ラジオ、新聞といった複数の媒体を活用して広報し、市民のみならず、国内外へ情報発信し集客を図る。 ○昭和を代表する建築家・内井昭蔵建築の美術館として、その価値を高めるため適切な時期に各所修繕を実施し、美観並びに博物館機能の保持に努め、後世に伝える。				
有識者の意見	常設展は、漆器に関する基本的なことを紹介し、制作年代や地域によりその形状・模様・技法等が異なることを理解するため、期間を分けて展示される。また、琉球王国時代の貝摺奉行所に関する展示と講座は、漆器について多くの方の理解を高めたと思います。 企画展の「葛飾北斎 琉球八景展」と「戦がやってきた－沖縄戦版画集－」は、本館所蔵する作品の恒例企画展であるが、期間展示であることから新たな視点で鑑賞することができる。 常設展・企画展はできるだけ多くの方に鑑賞していただきたく、様々な媒体を活用しての広報活動は、これからも行っていただきたいと考えます。入館した日には、県外からの老夫婦、外国の方もおり、広報活動は功を奏しているものと理解しております。				

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	8	事業名	学力向上対策事業		
担当課		学校教育課		有識者	平良 亮
事業概要	市内幼児・児童・生徒の学力向上実現のために以下の事業を行う。 (1)『学力向上推進委員会設置要綱』に基づき、学力向上推進委員会・専門部会開催の充実。 (2)『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成・配布し、各園、各学校、家庭・地域 関係各課・関係機関が連携した PDCA サイクルの推進。 (3)中学生を対象に、英語、漢字、数学の検定料を半額補助し、学習意欲の向上を図る。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	(1)学力向上推進委員会・専門部会の開催 学力向上推進委員会：(R7 実績:2回 R6 実績:2回 R5 実績:2回 R4 実績:2回) 学力向上推進専門部会:(R7 実績:1回 R6 実績:1回 R5 実績:1回 R4 実績:0回) (2)『浦添市学力向上推進実践報告書』作成・配布 R7 実績(40枚(CD-R 配布)) R6 実績(80 部) R5 実績(80 部) R4 実績:(120 部) (3)各種検定料の半額補助 R7 実績:440 人(英検:204 人、漢検:188 人、数検:48 人) R6 実績:619人(英検:280 人、漢検:261 人、数検:78 人) R5 実績:745人(英検:308 人、漢検:353 人、数検:84 人) R4 実績:745人(英検:364 人、漢検:297 人、数検:84 人) ○「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校運営協議会を小中全学校(16 校)で運用し学校・家庭・地域の連携・協働の充実に努めることができた。				
課題	○沖縄県の「自立した学習者育成プロジェクト」に沿った「てだこていんさぐプラン(新浦添市学力向上推進プラン)」に係る重点項目等を各学校(園)においての充実度。 ○『実践報告書』の作成方法や内容について、他校の参考となるような改善を図る必要がある。 ○各種検定料半額補助の利用者数が、年々減少傾向にある。 ○学力向上推進の取組と学校運営協議会をより活性化させ、地域一体となった支援を行う。				
今後の方向	○各種会議・研修の着実な実施を通じ、学校(園)における実践的かつ機能的な取組を推進する。 ○各種検定料半額補助を、市立中学校生徒から浦添市在住の中学3年生まで拡大し、受験機会のさらなる提供を図る。 ○教職員の働き方改革及び利便性向上のため、検定申請手続きを学校経由から保護者による直接申請に変更する。 ○『実践報告書』の内容を他校(園)の参考となるよう精査し、活用実践できる資料へと充実させる。 ○各学校の学力向上に向けた取組と学校運営協議会の連携を進化させ、効果的な助言を行う。				

- 各種検定(英検、漢検、数検)の半額補助件数が、年々減少の傾向にある。要因がどこにあるのか、引き続きの精査が必要である。児童生徒にとっては検定に挑戦し、合格した実績が喜びや自信となり、自己肯定感の獲得へとつながるとともに、将来の進路選択にも好影響を与えるものと思われることから、事業は今後も継続していただきたい。また、今後の方向性にもあるように、教職員の働き方改革及び利便性向上のために、懸案事項であった検定申請手続きを学校経由から保護者による直接申請に変更するとしたことを評価するとともに、ぜひ実現していただきたい。
- こども園では「教育・保育の改善」につなげる、小中学校では「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に活用することを目的として作成した「浦添市学力向上推進実践報告書」の発行を CD-R にまとめ、配布したことを評価したい。ただせっかくの良い実践が、まとめ・集約・発行のみで終わらず、沖縄県の新たな学力向上推進施策「自立した学習者の育成プロジェクト」や浦添市「てだこていんさぐプラン」を踏まえた自校の学力向上実現のための参考となり、自校で共有・実践できるようなシステムづくりを引き続きお願いしたい。
- 学力向上推進委員会や専門部会が予定通り開催できたことは喜ばしいことである。今後も浦添市学力向上推進計画「てだこていんさぐプラン」における重点項目等に関して、改めて各校(園)へ周知徹底を図るとともに、各校(園)、特に校区内の保幼小中が互いに連携しながら、特色ある教育活動が実践・展開されることに期待したい。
- R6 年度から全校が揃ってスタートした「学校運営協議会」については、教育委員会の指導助言のもと、各校(園)が幼児児童生徒の実態を踏まえながら、各校(園)、地域の特色や強みを最大限に生かした教育活動を工夫しながら展開している状況が垣間見える。
引き続き、学校と家庭、地域自治会、児童センターや行政等、多くの関係者が連携した教育活動を展開することが幼児児童生徒の学力向上の推進につながっていくことだろう。
今後の「学校運営協議会」のさらなる充実・発展および各校(園)がそれぞれの地域の人材や資源を最大限に生かした学力向上推進の取組に期待したい。

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	9	事業名	外国語指導事業		
担当課		学校教育課		有識者	平良 亮
事業概要	市立小中学生に対し、英語指導助手(AET)を活用した外国語活動・外国語学習を行う。 (1)小学校では、学級担任や英語専科教師とのチーム ティーchingにより音声重視した英語の授業を推進する。 (2)中学校では、外国人英語指導助手(AET)を活用し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際化に対応できる視野の広い生徒の育成を図る。 (3)英語指導助手(AET)を活用して、全ての市立小中学校において異文化交流会を実施する。 (4)太陽っ子短期留学派遣事業を実施し、中学生5名を英語圏の国へ夏休み期間中に3週間程度派遣する。				
評価	必要性		有効性	効率性	優先度
	3		3	3	3
	A				
成果等	(1)AET を全小中学校に配置し、AET を活用した授業や交流を行うことにより、児童生徒の異文化や英語に対する興味・関心が高まり、コミュニケーション能力の育成に効果的である。 (R7浦添市外国語意識調査結果より) ①「英語が好き」小学校高学年 75%(R6年度 75%)、中学校 63%(R6年度 71%) ②「英語の勉強は大切だ」小学校高学年95%(R6・94.5%)、中学校96%(R6・96%) ③「英語は将来役に立つ」小学校高学年 95%(R6・94%)、中学校 96%(R6・96%) (2)全小中学校で異文化交流会を実施することができた。 「自校の国際理解教育目標にせまることができた。」異文化交流会担当教師回答100% (3)「中学生異文化交流及び国際理解学習会」を夏休み期間に 2 日間、JICA 沖縄と市役所で実施することができた。 (4)外国語主任研修や小中連携公開授業の指導助言、授業づくり支援訪問等を通して、小中連携した取組を推進することができた。 (5)太陽っ子短期留学派遣事業を開始し、市立中学校からそれぞれ1名をアメリカへ夏休み期間中に3週間派遣した。帰国後、全中学校と希望する小学校で報告会を実施した。				
課題	(1)スキル面の課題 (R7実施県学力到達度調査) ①県学力到達度調査(1年生) 市平均正答率 42.1%(県43.0%、地区44.0%) ②県学力到達度調査(2年生) 市平均正答率 39.9%(県38.2%、地区40.9%) (2)情意面の課題(R7実施浦添市外国語意識調査結果より) 「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。」 小学校高学年 48%(R6・56%) 中学校47%(R6・49%) (3)言語活動を通じた指導と小中接続期の指導の在り方				
今後の方向	(1)小中ともに、効果的な AET とのチーム ティーchingによるきめ細かな学習指導を行うとともに、言語活動を通じた英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。 (2)小中接続期の指導の在り方について、研修や研究授業等を通して理解を深めていく。 (3)外国人英語指導助手(AET)を活用して、「中学生異文化交流及び国際理解学習会」を2日間の日程で実施する。 (4)太陽っ子短期留学派遣事業では、募集対象を広げ、浦添市在住の中学生 5 名を公募から選出し、英語圏の国に夏休み期間中 3 週間程度派遣する。 (5)外国語科での小中連携した取組を引き続き推進していく。 (6)令和8年度より浦添市立5中学校と、フィリピンの中学校とのオンライン交流会を開始する。 生徒の国際理解を深め、また授業で学んだ英語を実際に使用する機会としたい。				

有識者の意見	○R7年度浦添市外国語意識調査で「英語の勉強は大切だ」「英語は将来役に立つ」との問いに、小中学校とも約95%が肯定的な回答をしているが、「英語が好き」との問いには、小学校が前年度同様75%、中学校は63%(前年比マイナス8%)の結果となっている。 「英語の必要性」については多くの児童生徒が認識しているが、「好き」と回答した割合において小学校が20%、中学校が30%ほどの開きがあることに気になるところである。 ○県学力到達度調査の結果分析を踏まえ、「英語が好き」の児童生徒がさらに増えるよう、言語活動を通した指導と小中接続期の指導のあり方も含め、授業づくりの充実に努めてほしい。今後とも AET を積極的に活用し、会話を多く取入れる等、児童生徒の英語力向上に努めていただきたい。 ○昨年度に引き続き、全ての小中学校で AET を活用して異文化交流が実施できたことは大きな成果である。本市が全小中学校、全ての学年において効果的にチームティーチングができるよう、全ての小中学校に AET を配置していることは他市町村にない、長年にわたり本市の誇れる特長の1つといえる。ぜひ今後とも継続配置をお願いしたい。 ○「太陽っ子短期留学派遣事業」を復活・実施できたことを評価したい。予算との関係から派遣人数は5名と限定されるが、参加者にとっては、今後の人生に大きな影響を与える貴重な経験となることだろう。挑戦したいと思う生徒をより多く募るためにも、現地での体験談をより多くの生徒に伝えるための場(報告会)をぜひ設けていただきたい。 ○R8年度新規事業として「浦添市立5中学校とフィリピンの中学校とのオンライン交流会」を実施することを評価したい。コミュニケーション能力の育成、国際理解教育の推進にもつながる取組であり、ぜひ成果を出していただき、継続できるように取り組んでほしい。 ○夏休み期間に2日間、JICA 沖縄と連携した「中学生異文化交流及び国際理解学習会」を実施できたことを評価したい。 毎年海外から多くの研修生が来沖し、学んでいる JICA 沖縄との連携は大変素晴らしいことである。浦添市の地の利を生かさない手はない。身近にいる外国人との関わり合いを通して、互いの文化や考え方を知るとともに、双方の「違い」を理解し、相手を尊重する相互理解の態度の育成につながると思う。多様性を学ぶ貴重な機会となることから、ぜひ継続・推進してもらいたい。
--------	--

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	10	事業名	こどもが主体的に学習するための学校 ICT 機器整備事業		
担当課	学校教育課(教育研究所)		有識者	平良 亮	
事業概要	市立小中学校5校(牧港小学校、港川小学校、沢岬小学校、前田小学校、浦添中学校)の普通教室、特別教室へ教育の情報化に向けた電子黒板セット(電子黒板+PC)の ICT 機器整備を実施した。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	(1) ICT 機器(電子黒板等)の機能強化 第 3 期導入校(3 校)と第 4 期導入校(2 校)への電子黒板入れ替えによる機能強化を実施した。また、これまで使用していた70型電子黒板を、各学校の特別支援教室等、設置が必要な教室の割合で分配した(再配置)。これにより、市内全小中学校で ICT 機器を効果的に活用したこどもが主体的に学習するための環境がより整った。 (2)「わかる授業」の構築によるこどもの主体的な学習の充実 ICT 機器の整備・機能強化により、「授業がわかりやすい」と答えた児童生徒が小学校 96.7%、中学校 98%となった。また、自分の考えをまとめる場面で ICT 機器の活用ができた児童生徒は小学校で 52.8%、中学校で75.8%となった。小学校においては、低学年において活用が難しい面もあるが、高学年になるにつれて、中学校と同等の割合にまで到達している。これは、発達の段階に応じた系統的な活用促進によるものである。				
課題	○第 5 期以降に導入した機器の機能不足への対応 ○特別支援教室への機能強化 ○一人一台端末による個別最適な学びと電子黒板による協働的な学びの一体的な充実に向けた活用場面の工夫				
今後の方向	○第 5 期以降に導入した機器の計画的・継続的な機能強化により、一人一台端末と電子黒板が連動した双方向型の授業を加速させる。子どもたちの試行錯誤や多角的な視点を教室全体で共有することで、主体的な学びの更なる深化と、創造性の育成を目指す。 ○GIGA スクール構想第2期を迎え、電子黒板を基盤とした ICT 環境の日常的な活用を推進する。子どもたち自らが課題を見つけ、対話を通じて解決する「探究的な学び」を軸に、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、資質・能力の確実な育成を目指す。				
有識者の意見	○ICT 機器の機能進化は日進月歩の世界であり、計画的・段階的に機器整備・機能強化を図っていくことは避けることの出来ないものである。 そのような中、電子黒板の入れ替え等、対象となる学校での整備を計画的に実施できたことを評価するとともに感謝申し上げる。 引き続き、計画的な整備並びに機能強化をお願いしたい。 ○すべての児童生徒が ICT 機器を活用した学びを平等に受けることができる環境を整備していることを高く評価したい。特別支援教室へ通う児童生徒に対しても常に同等の学びを保障することができるよう、機能強化をお願いしたい。 ○本市独自の全小中学校対象のアンケートで「授業がわかりやすい」と答えた児童生徒の割合が約 97%と高い数値を示したことを評価したい。教育研究所主催の多くの研修会実施や ICT 支援訪問を通した指導助言のもと、各校の先生方が研鑽を積み、ICT 機器を活用した授業改善・指導力向上に取り組んできた成果といえる。 ○他者と関わりながら、問いをもち、課題の解決に向かう力を育成することが求められている中、浦添市の強みである「学習基盤としての ICT」活用は全学校にしっかりと定着しているといえる。県が目指す「自立した学習者」の育成に向け、ICT 機器の活用は外すことはできないことから、各教師1人1人が ICT 機器を活用しながら、「一斉指導」、「個別指導」、「協働学習」等、それぞれの場面を相互に組み合わせた指導ができるための指導力向上を図っていくためにも、引き続き予算の確保に尽力いただき、本事業を推進していただきたい。				

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	11	事業名	課題を抱える児童生徒支援事業		
担当課		こども青少年課	有識者	平良 亮	
事業概要	沖縄振興特別推進市町村交付金を活用し、臨床心理相談員、教育相談員、自立支援員、教育相談支援員を配置することで、不登校児童生徒や遊び非行・ひきこもり傾向等の様々な課題を抱える児童生徒に対して支援を行う。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	(1)教育相談室「くくむい」では、不登校児童生徒を対象に、個別面談や小集団活動を通し、学校復帰・社会適応を目指して支援を行った。[教育相談総件数 6,645 件 定期相談生 80 人] (2)こども支援教室「いまあじ」では、小集団での体験・学習活動を通して集団生活への適応力向上をさせ、学校復帰に向けた支援を行った。[入級者 4 人 体験通級・交流生 15 人] (3)自立支援室「ひなた」では、遊び非行・ひきこもり傾向の児童生徒を対象に、日中の居場所づくりや自立に向けた支援を行った。[支援件数 1,311 件 児童生徒数 24 人] (4)全市立小中学校へ教育相談支援員を配置し、課題を抱える児童生徒の相談業務や登校支援、児童生徒に関する悩みを持つ保護者や学校職員の相談活動を実施。 (5)全市立中学校へ校内自立支援員を配置し、登校するが教室に入室できない生徒に対して、校内自立支援室で児童生徒の個々の状況に応じた学習を中心とする支援を実施。 ※教育相談室「くくむい」、こども支援教室「いまあじ」、自立支援室「ひなた」で連携し、困難なケースに対して丁寧な支援ができたことは大きな成果である。 ※不登校児童生徒数は全国的に増加傾向にあるが、本市では令和7年度において小中学校ともに不登校児童生徒数が減少し 616 人となった。適切なアセスメント・見立てによる早期支援、支援員等の増員などの取組が不登校減少につながった。				
課題	○教育相談室「くくむい」への相談件数が年々増加し、業務が逼迫した背景もあり、定期相談生の上限を 80 名とした。相談件数の上限を設けたことで、相談件数は昨年度に比べ減少したが、緊急性の高いケースを優先的に受理しているため、長期的な支援となることが多く、業務負担が増えている。				
今後の方向	○教育相談室「くくむい」への相談件数増加に伴い、臨床心理相談員・教育相談員の負担を軽減するため、学校や他機関との連携、環境調整、小集団活動(居場所づくり)の強化を図り、社会適応・学校復帰を目指す。 ○不登校児童生徒の相談・指導等を受ける割合を増加し効果的な支援につなげるためにも、アセスメントシートを有効的に活用し、関係機関との連携強化を図る。(関係機関に90%つなぐ) ○臨床心理士による初回面談で、相談者の訴えを明らかにするインテークを「ひなた」でも実施。該当する児童生徒の世帯背景をおさえ、適切な支援方針を検討する。 ○相談者を客観的に分析するアセスメントとして知能検査や社会生活能力検査を実施する。 ○中学校の生徒指導委員会・生徒支援委員会へ参加し、情報提供・情報共有を積極的に行い、お互いの支援につなげる(小学校は要望に応じて)。必要に応じて臨床心理士による適切な助言を行う。 ○令和8年度、学校における教育相談支援員及び校内自立支援員の増員を目指す。				

有識者の意見	○教育相談室や適応指導教室、自立支援室の設置、全小中学校への教育相談支援員の配置、中学校への校内自立支援員の配置と、他市町村以上の手厚い支援体制で課題を抱える児童生徒支援が行われている。浦添市教育振興基本計画の骨子「すべての幼児児童生徒が等しく教育を受けるための支援」の達成に向けて、本市の本気度が伝わる事業であり、大いに評価できる。 ○全国的に不登校児童生徒数が増加する中、本市においては小中学校ともに不登校児童生徒数が減少している。このことは、適切なアセスメント・見立てによる早期支援、支援員等の増員などの取組が減少に繋がっており、高く評価したい。 ○関わるすべての大人が、児童生徒一人一人を大切に、学校や各関係機関が連携して困り事に対する丁寧な相談体制が構築されているからこそではないだろうか。引き続き充実した体制の継続をお願いしたい。 ○抱える件数の多さと解決が困難なケースの増加の状況において、定期相談生の人数上限を設けたが、それでも緊急性の高いケース等で長期的な支援が多くなり、業務負担が増えているとのことである。 今後、臨床心理士や教育相談員等の負担軽減を図る取組と併せて、学校教育相談員及び自立支援員の増員をぜひ実現してもらいたい。 ○学校においては未然防止の視点から「魅力ある学級・学校づくり」の推進、初期対応の視点から「組織的な早期発見・早期対応」体制の確立、自立支援の視点から「学校外の施設と連携した支援」体制づくりが重要である。 特に未然防止・早期対応に向けた支援が急務となっている。 多くの大人が、それぞれの立場において、常に寄り添い温かい励ましと支援を行っていくことが大切である。 ぜひ行政側の積極的な指導助言のもと、早期における教育相談の在り方や家庭支援等の体制確立に向けた取組を推進してもらいたい。 ○本事業を継続し、課題を抱える児童生徒に、こども青少年課と学校、家庭、地域、関係機関が連携を深め粘り強い丁寧な支援を行っていくことが必要である。全小中学校に設置された「学校運営協議会」においても幼児児童生徒の現状を共有し、自治会や児童センター等、コミュニティ全体で取り組む必要性を痛感している。 「人の役に立てること」「人から必要とされていること」に関わりの中において伝え、様々な活動を通して経験・実感させていけば、自己肯定感や自己存在感、自己有用感等が高まり、必ずや立ち直っていけるものと信じている。
--------	---

教育委員会点検・評価書(令和 7 年度実施事業)

No	12	事業名	学校給食費補助金交付事業		
担当課		学校給食調理場	有識者	平良 亮	
概要 事業	国や県の補助金を活用し、市立小中学校に通う児童生徒の保護者に対し、給食費の半額を補助することで、保護者の経済的負担軽減を図る。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	○浦添市学校給食費保護者支援補助金 浦添市立小学校に通う児童 5,349 人(要保護・準要保護等除く)の給食費を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月分までの 1 年間、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、給食費月額 5,100 円の半額を補助することで、保護者の経済的負担軽減を図ることができた。 ○浦添市中学生学校給食費補助金 浦添市立中学校に通う生徒 2,617 人(要保護・準要保護等除く)の給食費を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月分までの 1 年間、沖縄県公立学校給食費無償化支援事業補助金を活用し、給食費月額 5,800 円の半額を補助することで、保護者の経済的負担軽減を図ることができた。 ○学校給食物価高騰対策補助金 浦添市立小中学校 10,898 人の通う児童生徒の保護者に対し、給食費食材高騰及び栄養価の充足率向上を図るため、令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月分までの 6 か月間、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金約 3,070 万円を食材費として活用することで、学校給食食材の安定的な確保に努めることができた。				
課題	○近年の物価高騰等の影響により、安定的な食材の調達について課題がある。				
今後の課題	○児童生徒の栄養バランス及び栄養価充足率の向上を図りながら、安定的な財源の確保に努める。				
有識者の意見	○2024年度「沖縄子ども調査」報告書(小中学校)によると、困窮世帯の割合は21.8%と前回調査より 7.1 ポイント減少したものの、長引く物価高騰で、全体の90%以上が「生活が苦しくなった」と回答している。 ○困窮世帯の割合が増えている中、給食費の負担は調査項目の上位を占めている。そのような状況において、補助金を活用した支援が受けられることは、保護者にとっては大変ありがたいことであり、安心して子育てができる環境づくりにもつながる事業として、大変評価できる。 ○ある調査によると、経済的負担によるストレスが子どもの学校生活や、家庭内の人間関係にも影響していることが明らかになっている。しかし、その経済格差が、成長期にあるこどもの食事内容や栄養摂取に悪影響を与えてしまう状況だけは避けたい。すべての児童生徒が平等に、栄養バランスの摂れた学校給食を食べることができ、経済的な困難から健康や学習機会が損なわれないようにあってほしいことを願う。 ○全国的に学校給食費無償化の流れが加速している中、本市においても国や県の補助金を活用し、令和8年度は小中学校児童生徒の給食費の無償化が決定され、実現に結びついたことは高く評価したい。 ○長引く物価高騰により、食材調達にも経費負担が増す中において本市も同様な課題があるが、学校給食が成長期にある児童生徒に対し栄養バランスのとれた食事を提供し、児童生徒の健康増進、体位の向上及び心身の発達を図ることを目的としていることから重要であり、「食育の推進」という視点からも、子育て保護者への経済的負担を軽減する方策を見だし、今後も継続していただくことを強く望む。 ○学校給食は「食育指導」の中核をなすものであると同時に、「知育・徳育・体育」など「生きる力」の基本となるべき大切なものでもあり、栄養摂取を含め、その果たす役割は大きい。				

資料

教育委員会会議における議案等一覧

開催回数16回（定例会12回、臨時会4回）

議案59件、報告27件

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議 案 名
定例1	R7.4.4	第1号	原案どおり 了承	第214回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申出について
		報告 第1号		専決事項の報告について（教育委員会事務局職員）
定例2	R7.5.2	第2号	原案どおり 承認	教育財産の取得申出について
		第3号	原案どおり 了承	第213回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申出について
		第4号	原案どおり 承認	教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について
		報告 第2号		「浦添市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」策定後の取組報告について
		報告 第3号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
定例3	R7.5.28	第5号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について（退職）
		第6号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会職員安全衛生管理規則の一部を改正する規則
		第7号	原案どおり 承認	浦添市特別支援教育就学奨励費規則の一部を改正する規則
		第8号	原案どおり 承認	浦添市教育振興基本計画（後期）の策定について（諮問）
		第9号	原案どおり 承認	浦添市立学校のプール施設の在り方に関する基本方針の策定について
		報告 第4号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
定例4	R7.7.4	第10号	原案どおり 承認	浦添市立学校に勤務する職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令
		第11号	原案どおり 承認	浦添市私立学校等学校給食費保護者支援補助金交付規程
		第12号	原案どおり 承認	教育長の営利企業等の従事について
		第13号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について
		報告 第5号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
		報告 第6号		専決事項の報告について（教育委員会事務局職員）
		報告 第7号		令和7年度浦添市教育委員会点検・評価報告について
定例5	R7.8.1	第14号	原案どおり 承認	「議案第13号教育委員会職員の人事について」の議決の取消しについて
		第15号	原案どおり 了承	第214回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申出について
		第16号	原案どおり 承認	令和8年度使用小学校教科用図書の採択について
		第17号	原案どおり 承認	令和8年度使用中学校教科用図書の採択について
		第18号	原案どおり 承認	令和8年度小学校・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
		第19号	原案どおり 承認	教育長の営利企業等の従事について
		報告 第8号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
		報告 第9号		専決処分の報告について
		報告 第10号		専決事項の報告について（教育委員会事務局職員）

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議 案 名
定例6	R7.8.29	第20号	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第11号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
		報告 第12号		報告第9号の内容取下げについて
		報告 第13号		専決処分の報告について
定例7	R7.10.3	第21号	原案どおり 承認	浦添市立学校管理規則の一部を改正する規則
		第22号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について（退職）
		報告 第14号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
		報告 第15号		専決処分の報告について
定例8	R7.10.31	第23号	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		第24号	原案どおり 了承	第215回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申出について
		第25号	継続審議	浦添市立学校給食調理場運営に関する規則の一部を改正する規則
		報告 第16号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
臨時1	R7.11.27	第26号	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		第27号	原案どおり 了承	第215回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申出について
		報告 第17号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
		報告 第18号		専決事項の報告について（教育委員会事務局職員）
定例9	R7.12.5	第28号	原案どおり 承認	令和7年度公立学校管理職途中人事の内申について
		第29号	原案どおり 承認	教育長の営利企業等の従事について
		報告 第19号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
定例10	R8.1.9	第30号	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		第31号	原案どおり 了承	第217回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申出について
		第32号	原案どおり 承認	令和7年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
		報告 第20号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
		報告 第21号		専決事項の報告について（教育委員会事務局職員）
定例11	R8.1.30	第33号	原案どおり 了承	第216回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申出について
		第25号	取下げ	浦添市立学校給食調理場運営に関する規則の一部を改正する規則
		第34号	原案どおり 承認	浦添市立学校給食調理場運営に関する規則の一部を改正する規則
		第35号	原案どおり 承認	浦添市立学校管理規則の一部を改正する規則
		第36号	原案どおり 承認	浦添市立学校における学校運営協議会規則の一部を改正する規則
		第37号	原案どおり 承認	令和7年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の追加決定について
		報告 第22号		専決事項の報告について（県費負担教職員）

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議 案 名
臨時2	R8.2.16	第38号	原案どおり承認	令和8年度公立学校管理職等の定期人事異動の内申について
		第39号	原案どおり承認	指導主事の派遣に関する内申について
		第40号	原案どおり承認	浦添市立中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則
		第41号	原案どおり承認	浦添市立中央公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		第42号	原案どおり承認	公立学校事務職員及び学校栄養職員の昇任内申について
		第43号	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告第23号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
定例12	R8.2.25	第44号	原案どおり承認	令和8年度公立学校教職員等の定期人事異動の内申について
		第45号	原案どおり承認	県費負担教職員の内申について
		第46号	原案どおり承認	教育委員会委員の辞職について
		第47号	原案どおり承認	浦添市教育振興基本計画（後期）の策定について
		第48号	原案どおり承認	教育長の営利企業等の従事について
		報告第24号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
		報告第25号		専決事項の報告について（教育委員会事務局職員）
臨時3	R8.3.13	第49号	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について（退職）
		第50号	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について
		第51号	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について（追加発令）
		第52号	原案どおり承認	教育機関の長の任用について
		第53号	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告第26号		専決事項の報告について（県費負担教職員）
臨時4	R8.3.31	第54号	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		第55号	原案どおり承認	浦添市教育委員会職員職名に関する規則の一部を改正する規則
		第56号	原案どおり承認	浦添市教育委員会の組織、事務分掌等に関する規則の一部を改正する規則
		第57号	原案どおり承認	未来に翔たく太陽っ子育成事業補助金交付規程の一部を改正する訓令
		第58号	原案どおり承認	浦添市学校給食費保護者支援補助金交付規程の一部を改正する告示
		第59号	原案どおり承認	教育長の営利企業等の従事について
		報告第27号		専決事項の報告について（県費負担教職員）

教育委員の活動状況
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

日 付	内 容
4月1日(火)	令和7年度定期人事異動辞令交付式
4月4日(金)	第1回教育委員会定例会(4月)
4月10日(木)	仲西小学校入学式
	牧港小学校入学式
	当山小学校入学式
	浦添中学校入学式
	港川中学校入学式
	浦西中学校入学式
4月18日(金)	教育委員辞令交付式
4月21日(月)	市町村教育委員会県連理事会(ZOOM参加)
4月25日(金)	教育委員会議勉強会
5月2日(金)	第2回教育委員会定例会(5月)
5月8日(木)	第70回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会
5月9日(金)	
5月16日(金)	浦添市てだこ学園大学院入学式
5月18日(日)	浦添市子連定期総会及び顕彰事業表彰式
5月22日(木)	教科用図書那覇採択地区協議会
5月23日(金)	「中国・泉州市文化交流展」開会式
	教育委員会議勉強会
	浦添市PTA連合会定期総会
5月27日(火)	浦添市育英会評議員会
5月28日(水)	第3回教育委員会定例会(6月)
5月30日(金)	令和7年度 小中学校と行政(教育委員会)との懇親会
6月12日(木)	「6.12愛の声かけ一斉早朝コール作戦」
6月27日(金)	教育委員会議勉強会
7月1日(火)	浦添市市制施行55周年記念式典
7月4日(金)	第4回教育委員会定例会(7月)
7月25日(金)	教育委員会議勉強会
	浦添市教育文化講演会
8月1日(金)	第5回教育委員会定例会(8月)
	泉州市交流事業 結団式
8月3日(日)	泉州市交流事業団 出発式
8月7日(木)	沖縄県市町村教育委員会連合会理事会(ZOOM)
	泉州市交流事業団 お迎え
8月21日(木)	九州地区市町村教育委員会研修会(長崎大村市)
8月22日(金)	
8月29日(金)	第6回教育委員会定例会(9月)
9月26日(金)	教育委員会議勉強会
10月2日(木)	青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会
10月3日(金)	第7回教育委員会定例会(10月)
10月6日(月)	第54期長期教育研究員入所式
10月8日(水)	学校訪問 宮城小学校
10月9日(木)	学校訪問 浦添中学校
10月14日(火)	第79回浦添市戦没者追悼式
10月17日(金)	総合教育会議勉強会
10月18日(土)	てだこポケットフェスタ～第48回浦添てだこまつり～
10月20日(月)	学校訪問 浦城小学校

日 付	内 容
10月21日（火）	第2回教科用図書那覇採択地区協議会
10月23日（木）	学校訪問 神森小学校 学校訪問 仲西中学校
10月24日（金）	那覇地区市町村教育委員会協議会第2回会議 沖縄県市町村教育委員会連合会研修会
10月25日（土）	ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト展表彰式
10月27日（月）	第1回総合教育会議 教育委員会議勉強会
10月28日（火）	学校訪問 神森中学校
10月31日（金）	第8回教育委員会定例会(11月)
11月2日（日）	浦添獅子舞フェスティバル
11月10日（月）	学校訪問 内間小学校
11月12日（水）	学校訪問 沢岬小学校
11月13日（木）	学校訪問 牧港小学校
11月20日（木）	学校訪問 当山小学校
11月21日（金）	学校訪問 仲西小学校
11月22日（土）	浦添市文化協会「第44回文化祭」
11月25日（火）	学校訪問 浦西中学校
11月26日（水）	学校訪問 港川小学校 学校訪問 港川中学校
11月27日（木）	学校訪問 浦添小学校 第1回教育委員会臨時会
11月28日（金）	学校訪問 前田小学校
12月5日（金）	第9回教育委員会定例会(12月)
12月16日（火）	浦添市てだこ学園大学院意見発表会
1月7日（水）	教育委員会議勉強会
1月9日（金）	第10回教育委員会定例会(1月) 市町村教育委員会県連理事会
1月10日（土）	浦添市消防出初式
1月11日（日）	浦添市はたちの集い
1月21日（水）	市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
1月25日（日）	第42回浦添市子ども会まつり
1月26日（月）	教育委員会議勉強会
1月30日（金）	第11回教育委員会定例会(2月)
2月14日（土）	教育委員会表彰式
2月16日（月）	第2回教育委員会臨時会
2月25日（水）	第12回教育委員会定例会(3月) 第2回総合教育会議
2月27日（金）	第36回浦添市てだこ学園大学院卒業式
3月7日（土）	浦添中学校卒業式 港川中学校卒業式 仲西中学校卒業式 神森中学校卒業式
3月13日（金）	第3回教育委員会臨時会
3月18日（水）	仲西小学校卒業式 沢岬小学校卒業式 浦城小学校卒業式 牧港小学校卒業式
3月24日（火）	教育研究所 長期教育研究員成果報告会・修了式
3月31日（火）	第4回教育委員会臨時会

教育長の活動状況
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

日 付	内 容
4月1日（火）	令和7年度定期人事異動辞令交付式
4月2日（水）	浦添市立小中学校への新年度あいさつ訪問
4月3日（木）	浦添市立小中学校への新年度あいさつ訪問
4月4日（金）	浦添郵便局長あいさつ訪問
	第1回教育委員会定例会(4月)
	浦添市立小中学校への新年度あいさつ訪問
4月7日（月）	沖縄県教職員組合表敬訪問
4月9日（水）	オンデーズ小学生学業支援プロジェクト市長表敬
	宮城小学校入学式
4月10日（木）	港川小学校入学式
	仲西中学校入学式
	令和7年度定期総会(中部南保護区保護司会浦添支部)
4月11日（金）	沖縄県市町村教育委員会連合会監査
4月14日（月）	泉州市訪問団お迎え～歓迎夕食会
4月15日（火）	泉州工芸美術職業学院市長表敬・美術館との友好提携調印式
4月16日（水）	第1回校長連絡協議会
	令和7年度 浦添市こいのぼり掲揚式
	令和7年度 第1回浦添市不登校等児童生徒対策推進委員会
4月17日（水）	泉州市訪問団お見送り
	学校訪問
4月18日（木）	教育委員辞令交付式
	「カーミージーの生き物たち」パンフレットの寄贈
	令和7年度「浦添市女性連合会」「浦添市交通安全母の会」定期総会
4月21日（月）	第214回浦添市議会臨時会
4月22日（火）	令和7年度浦添市民生委員・児童委員連絡協議会定期総会
4月24日（木）	教頭等連絡協議会
	令和7年度浦添市交通安全推進協議会総会
	令和7年度暴力団壊滅浦添市民対策会議総会
	浦添市青少年健全育成市民会議第39回定期総会
4月25日（金）	北方領土問題に対する表敬訪問
	教育委員会議勉強会
	令和7年度浦添市てだこまつり実行委員会(第1回)
4月28日（月）	那覇地区校長会表敬訪問
5月2日（金）	第2回教育委員会定例会(5月)
5月7日（水）	ひまわりの種贈呈式(Go家運動)
5月8日（木）	沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会
5月9日（金）	沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会
5月12日（月）	令和7年度浦添市育英会第1回理事会
5月13日（火）	国立大学法人琉球大学教育学部附属小中学校における教育長表敬訪問
5月14日（水）	全国都市教育長協議会第75回定期総会並びに研究大会
5月15日（木）	全国都市教育長協議会第75回定期総会並びに研究大会
5月16日（金）	全国都市教育長協議会第75回定期総会並びに研究大会
5月20日（火）	沖縄県中学校文化連盟会長表敬訪問
	評価者(当初)面談
5月21日（水）	公民館講座平和キャラバン
	評価者(当初)面談
5月22日（木）	評価者(当初)面談
	第1回教科用図書那覇採択地区協議会
	泉州市訪問団お迎え

日 付	内 容
5月23日（金）	「中国・泉州市文化交流展」開会式 教育委員会議勉強会 令和7年度第1回浦添市学校教育情報化推進委員会 「中国・泉州市文化交流展」泉州市市長表敬 令和7年度 浦添市租税教室推進協議会定期総会 中国・泉州市訪問団歓迎夕食会
5月25日（日）	浦添市立浦添小学校「方言ワークショップ」 泉州市訪問団お見送り
5月27日（火）	令和7年度 浦添市育英会評議員会 文化協会市長表敬訪問
5月28日（水）	那覇地区中学校体育連盟会長表敬訪問 第3回教育委員会定例会（6月） 浦添市てだこ学園大学院同窓会定期総会
5月30日（金）	令和7年度第1回公立学校施設整備事業事務担当者説明会 副市長退職辞令交付式 令和7年度 小中学校と行政（教育委員会）との懇親会
6月2日（月）	第213回浦添市議会定例会 副市長辞令交付式
6月3日（火）	副市長就任セレモニー 教育委員会議勉強会
6月4日（水）	第1回浦添市教育支援委員辞令・委嘱状交付式 教育委員会実施事業有識者委嘱状交付式
6月5日（木）	育英会寄附金贈呈式 浦添地区少年補導員協議会市長表敬
6月6日（金）	第213回浦添市議会定例会
6月9日（月）	第213回浦添市議会定例会
6月10日（火）	第213回浦添市議会定例会
6月11日（水）	第213回浦添市議会定例会
6月12日（木）	令和7年度「6.12愛の声かけー斉早朝コール作戦」 第213回浦添市議会定例会
6月13日（金）	第213回浦添市議会定例会
6月16日（月）	第213回浦添市議会定例会
6月17日（火）	キンザー小学校校長退職に伴う市長表敬 令和7年度 学力向上推進専門部会
6月18日（水）	育英会寄附金贈呈式 泉州市交流事業 保護者説明会
6月19日（木）	東京ヤクルトスワローズ浦添協力会役員会
6月25日（水）	第213回浦添市議会定例会 浦添市と浦添市医師会との意見交換会
6月27日（金）	教育委員会議勉強会
6月30日（月）	国立劇場おきなわ表敬訪問 浦添市市制施行55周年記念友好都市招聘事業「歓迎レセプション」
7月1日（火）	蒲郡市 浦添市長表敬 泉州市 浦添市長表敬 浦添市市制施行55周年記念式典
7月2日（水）	令和7年度 第1回浦添市教育振興審議会 第75回「社会を明るくする運動」総理大臣メッセージ等の伝達式
7月4日（金）	第4回教育委員会定例会（7月） 第38回「浦添市少年の主張大会」 令和7年度太陽っ子短期留学派遣事業結団式
7月10日（木）	第2回校長連絡協議会
7月14日（月）	市町村教育委員会教育長会議

日 付	内 容
7月16日（水）	令和7年度新規採用職員中期研修 教育長講話
7月17日（木）	北那覇税務署長来訪
7月18日（金）	絵本の寄贈 沖縄県スポーツ推進委員協議会来訪 日中友好交流都市中学生卓球交換大会代表選手来訪
7月22日（火）	ジュシー贈呈式
7月24日（木）	With Art うらそえを考える会市長表敬
7月25日（金）	教育委員会議勉強会 令和7年度沖縄県都市教育長協議会
7月27日（日）	浦添グスク・ようどれ探検
7月28日（月）	沖縄県教職員組合表敬訪問
8月1日（金）	第5回教育委員会定例会（8月） 泉州市交流事業結団式 浦添市社会教育委員委嘱状交付、激励の挨拶
8月3日（日）	海外出張 中国泉州市交流事業
8月4日（月）	海外出張 中国泉州市交流事業
8月5日（火）	海外出張 中国泉州市交流事業
8月6日（水）	海外出張 中国泉州市交流事業
8月7日（木）	海外出張 中国泉州市交流事業
8月17日（日）	第19回浦添市語やびらしまくとうば大会
8月18日（月）	令和7年度 浦添市初任者研修会
8月19日（火）	泉州市交流事業発表会
8月20日（水）	浦添市PTA連合会表敬 当山小学校分離新設校の早期開校について
8月22日（金）	第5回てだこ子ども議会
8月23日（土）	第63回沖縄県スポーツ推進委員研究大会
8月26日（火）	泉州市交流事業報告会 令和7年度浦添市中学生平和交流事業報告会及び浦添市ピースメッセンジャー認定証交付
8月29日（金）	第6回教育委員会定例会（9月）
8月31日（日）	第36回西原大綱引き
9月1日（月）	日本公衆電話協会による教育長表敬訪問
9月2日（火）	飛び出せ学校応援プロジェクト(港川小学校)
9月3日（水）	第40回「沖縄県少年の主張・那覇地区大会」
9月4日（木）	第214回浦添市議会定例会
9月9日（火）	浦添市子ども会育成連絡協議会市長表敬 令和7年度太陽っ子短期留学派遣事業市長報告会
9月10日（水）	第214回浦添市議会定例会
9月11日（木）	第214回浦添市議会定例会
9月12日（金）	第214回浦添市議会定例会
9月13日（土）	令和7年度第28回那覇地区PTA研修会
9月16日（火）	第214回浦添市議会定例会
9月17日（水）	第214回浦添市議会定例会
9月18日（木）	第214回浦添市議会定例会 第3回校長連絡協議会
9月19日（金）	第214回浦添市議会定例会
9月23日（火）	第28回浦添市空手道大会
9月25日（木）	令和7年度浦添市育英会第2回理事会
9月26日（金）	那覇地区中学校文化連盟教育長表敬訪問 全国中学校ハンドボール大会 準優勝報告
9月29日（月）	浦添市PTA連合会役員市長表敬訪問
9月30日（火）	第214回浦添市議会定例会

日 付	内 容
10月2日（木）	令和7年度青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会等
10月3日（金）	第7回教育委員会定例会(10月) 第五次浦添市子どもの読書活動推進計画策定委員会委嘱状交付
10月6日（月）	令和7年度第54期長期教育研究員入所式 十五夜獅子舞
10月7日（火）	浦添城跡発掘調査現場視察 育英会寄附金贈呈式
10月8日（水）	学校訪問 宮城小学校
10月9日（木）	学校訪問 浦添中学校
10月10日（金）	沖縄大学教育実践演習学校レクリエーション指導
10月14日（火）	第79回浦添市戦没者追悼式
10月15日（水）	第37回九州都市教育長協議会定期総会
10月16日（木）	第37回九州都市教育長協議会定期総会
10月17日（金）	第37回九州都市教育長協議会定期総会
10月18日（土）	てだこポケットフェスタ～第48回浦添てだこまつり～ 浦添市小学校校区子ども会対抗ドッジビー大会
10月19日（日）	てだこポケットフェスタ～第48回浦添てだこまつり～
10月20日（月）	学校訪問 浦城小学校
10月21日（火）	令和7年度第2回教科用図書那覇採択地区協議会 令和7年度第2回市町村教育委員会教育長連絡協議会
10月23日（木）	学校訪問 神森小学校 学校訪問 仲西中学校
10月24日（金）	那覇地区市町村教育委員会協議会(第2回会議) 沖縄県市町村教育委員会研修会
10月27日（月）	第1回総合教育会議 教育委員会議勉強会
10月28日（火）	学校訪問 神森中学校 飛び出せ学校応援プロジェクト(浦添小学校)
10月29日（水）	評価者(中間)面談
10月30日（木）	学校見学(国立劇場) 評価者(中間)面談
10月31日（金）	第8回教育委員会定例会(11月) 評価者(中間)面談
11月1日（土）	おはなしのたから箱スペシャル2025～沖縄&浦添のはなし～ 市民協働とまなびのフェスタ浦添2025 放課後子どもフェスタ・公民館フェスタ
11月3日（月）	尚寧王の道を訪ねる
11月5日（水）	明治安田生命による金融教育の成果報告
11月10日（月）	学校訪問 内間小学校
11月11日（火）	第4回校長連絡協議会 税に関する作品表彰式
11月12日（水）	学校訪問 沢岬小学校 沖縄キリスト教短期大学教授表敬訪問
11月13日（木）	学校訪問 牧港小学校
11月18日（火）	令和7年度 浦添市・キャンプ・キンザー合同防災訓練 文化協会表敬 第1回ネクストティーチャーズ研修会 九州地区スポーツ推進委員研究大会打ち合わせ
11月20日（木）	学校訪問 当山小学校 県議会議員来訪
11月21日（金）	学校訪問 仲西小学校
11月25日（火）	学校訪問 浦西中学校

日 付	内 容
11月26日（水）	学校訪問 港川小学校 学校訪問 港川中学校
11月27日（木）	学校訪問 浦添小学校 第1回教育委員会臨時会
11月28日（金）	学校訪問 前田小学校
12月1日（月）	市長表敬
12月2日（火）	第215回浦添市議会定例会
12月4日（木）	人権擁護委員来訪 令和7年度民生委員・児童委員一斉改選における委嘱状及び感謝状伝達式
12月5日（金）	第9回教育委員会定例会(12月) 飛び出せ学校応援プロジェクト(仲西小学校)
12月6日（土）	第31回沖縄県中学校総合文化祭 令和7年度 浦添市障がい児・者ふれあいクリスマス会
12月8日（月）	第215回浦添市議会定例会
12月9日（火）	第215回浦添市議会定例会
12月10日（水）	第215回浦添市議会定例会
12月11日（木）	第215回浦添市議会定例会
12月12日（金）	第215回浦添市議会定例会
12月14日（日）	第1回浦添市PTAパフォーマンスフェスタ
12月15日（月）	第215回浦添市議会定例会
12月16日（火）	第215回浦添市議会定例会 九州地区スポーツ推進委員研究大会打ち合わせ
12月17日（水）	飛び出せ学校応援プロジェクト(内間小学校) 令和7年度 浦添・西原地区安全なまちづくり推進協議会
12月18日（木）	読み聞かせ(浦添小学校) 宮城珠算学校による市長への全国大会結果報告
12月19日（金）	浦添市立中央公民館供用停止(閉鎖)に伴う代替施設の整備に関する要請
12月20日（土）	令和7年度 単位PTA親睦スポーツ大会
12月21日（日）	第26回浦添市小中学校美術作品展表彰式
12月22日（月）	保護司会表敬 教育委員会表彰式選考審査会
12月23日（火）	令和7年度浦添市育英会第3回理事会
12月25日（木）	第215回浦添市議会定例会
12月26日（金）	令和7年度 冬季講座「浦添市の歴史探訪」
1月5日（月）	年始式
1月7日（水）	教育委員会議勉強会
1月8日（木）	新年祝賀会
1月9日（金）	第10回教育委員会定例会(1月)
1月10日（土）	令和8年浦添市消防出初式
1月11日（日）	令和8年浦添市はたちの集い
1月13日（火）	令和8年新春の集いプログラム
1月15日（木）	仲西獅子保存会 九州地区民俗芸能大会参加報告市長表敬
1月16日（金）	令和7年度沖縄県都市教育長協議会会議
1月17日（土）	かけはしプログラム講話(パンダ保育園)
1月19日（月）	浦添市自殺対策推進本部 給食週間における市長・教育長会食(内間小学校) 第48回浦添てだこまつり実行委員会
1月21日（水）	「ちかためプロジェクト」による教育長表敬訪問 令和7年度市町村教育委員会教育長・教育委員研修会

日 付	内 容
1月22日（木）	浦添青年会議所来訪 第53回高齢者の生きがいと健康づくり作品展展示会特別企画に係る選考会 教育長表敬訪問 浦添市美術館開館35周年特別展「超リアル！琉球王国の華・漆芸 貝摺奉行所展」開会式・内覧会 演劇鑑賞
1月23日（金）	第217回浦添市議会臨時会
1月24日（土）	浦添市女性連合会第25回「演芸のつどい」
1月25日（日）	2025うらそえYA文芸賞表彰式
1月26日（月）	教育委員会議勉強会 第53回高齢者の生きがいと健康づくり作品展展示会閉会式
1月27日（火）	ヤクルト球団表敬訪問 学力向上推進委員会 青少年北方領土現地視察報告
1月29日（木）	第5回校長連絡協議会 第71回通常総会並びに新年意見交歓会（浦添青年会議所）
1月30日（金）	第11回教育委員会定例会（2月） 評価者（最終）面談
2月3日（火）	第2回学力向上推進委員会 那覇地区教育長連絡協議会
2月4日（水）	教育委員会議勉強会
2月5日（木）	第3回教頭連絡協議会 評価者（最終）面談
2月6日（金）	プロゴルファー山城奈々選手によるテント贈呈式 評価者（最終）面談
2月7日（土）	当山小学校創立50周年記念式典
2月9日（月）	育英会寄付金贈呈式 第2回浦添市不登校等児童生徒支援推進委員会
2月10日（火）	飛び出せ学校応援プロジェクト（宮城小学校） 沖展招待券贈呈（寄贈）式
2月12日（木）	浦添市教育振興審議会答申 「みんなのスポーツ」取材
2月13日（金）	令和8年度定期人事異動内示書伝達交付式
2月14日（土）	令和7年度浦添市教育委員会表彰式 令和7年度第43回浦添市PTA研究大会及び授賞式
2月16日（月）	第2回教育委員会臨時会 史跡中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会
2月17日（火）	ろうきん地区推進委員会による小中学校への寄贈品贈呈式
2月18日（水）	令和7年度第2回浦添市学校教育情報化推進委員会 令和7年度新春受賞者祝賀会（浦添市文化協会）
2月19日（木）	浦添小学校まち探検教育長インタビュー 沖縄海邦銀行浦添・宜野湾エリアによる市内中学校3年生へ文具の贈呈式
2月20日（金）	第216回浦添市議会定例会
2月25日（水）	「ちかためプロジェクト」終了報告による教育長表敬訪問 令和7年度第1回浦添市文化財調査審議会 第12回教育委員会定例会（3月） 第2回総合教育会議
2月26日（木）	育英会寄付金贈呈式 あかひらステーション内覧会
2月27日（金）	第216回浦添市議会定例会
3月2日（月）	第216回浦添市議会定例会

日 付	内 容
3月3日（火）	第216回浦添市議会定例会
3月4日（水）	第216回浦添市議会定例会
3月5日（木）	第216回浦添市議会定例会 インターンシップ生来庁
3月6日（金）	第216回浦添市議会定例会
3月7日（土）	浦西中学校卒業式
3月9日（月）	第216回浦添市議会定例会
3月12日（木）	応急給水拠点整備事業成案報告
3月13日（金）	第3回教育委員会臨時会
3月14日（土）	琉球交響楽団第53回定期演奏会
3月17日（火）	新1年生用ランドセルカバー寄附金贈呈式
3月18日（水）	当山小学校卒業式
3月19日（木）	一般会計予算審査特別委員会
3月23日（月）	浦添市社会教育委員答申
3月24日（火）	令和7年度長期教育研究員成果報告会及び修了式
3月27日（金）	第216回浦添市議会定例会
3月29日（日）	浦添少年少女合唱団50周年記念演奏会
3月31日（火）	第4回教育委員会臨時会 退職辞令交付(教育委員会) 令和7年度退職辞令交付式

点検・評価を終えて

令和 8 年度の「教育委員会点検・評価報告書(令和 7 年度事業対象)」がまとまりました。

教育委員の活動においては、浦添市獅子舞フェスティバル、浦添市子ども会まつりや浦添市はたちの集いなど多種多様な行事にも積極的に参加し、その様子や状況等を直に確認し、現場の現状を理解するよう努めました。

次に、毎月開催されている教育委員会議においては、審議の活性化と深化を目指し、事前の議案資料の読み込みや自主的な学習の場を設けるなどして会議に臨み、充実を図ってきました。

また、学校訪問においては、市内の全小中学校で、特別教室への ICT 機器整備機能強化による、誰一人取り残すことのない「令和の日本型教育」の構築を目指した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実を目指し、学習基盤としての ICT 活用が図られ、効果的に活用したわかる授業が校内のどの学級においても日常的に実践され、管理職のリーダーシップのもと、授業改善を軸にした児童生徒の学力向上への意欲を実感することが出来ました。デジタル化の推進により、教職員の労働環境改善にもつながり、ひいては学校教育の充実・発展にもつながると思われま

す。最後に、「教育長への委任事務評価」においては、重点施策と位置づけた事業の中から 12 事業のうち 11 事業については主要事業と位置づけ、前年度から継続して評価対象とし、事業全体としては、前年度の課題と有識者提言を受けて改善に取り組まれた事業や担当課による事業に取り組む姿勢に対し、労いと激励と同時に、事業推進への貴重な提言をいただきました。

今後も、担当部署や関係者が、各事業の成果と課題や今後の方向性を共有し、さらに、有識者による提言を真摯に受け止めて、施策の着実な実現に向け、効果的な教育行政の推進に努めてまいりたいと考えております。

結びに、本年度の「教育委員会点検・評価」にあたり、有識者として関係資料の読み込み、担当部署や関係者への聞き取りなどに精力的に取り組まれ、大所高所からご助言・ご提言をいただきました、平良 亮様、松川 章様、森田 牧子様には衷心より厚くお礼申し上げます。

浦添市教育委員会